

横山 禎徳 (よこやま よしのり)

- 現 職： マッキンゼー・アンド・カンパニー 東京支社 ディレクター
- 学 歴： 1966年 東京大学 工学部 建築学科卒業 (工学士)
1972年 ハーバート大学 デザイン大学院修了 (都市デザイン修士)
1975年 マサチューセッツ工科大学 経営大学院修了
ファイナンス専攻 (経営学修士)
- 職 歴： 1966年 前川国男建築設計事務所 (東京)入社
1973年 デービス・ブローディアンドアソシエーツ (ニューヨーク)入社
1975年 マッキンゼー・アンド・カンパニー 入社
1987年 ディレクター就任 (内 1989-1994 東京支社長)

最近の主な業績：

過去 25年に渡って各種金融機関 (銀行、生命保険会社、損害保険会社、ノンバンク、外資系金融機関)及びサービスセクター企業 (商社、通信会社、ソフトウェアハウス等)に対して全社戦略、システム戦略、国際化戦略等の立案、組織体制の設計、買収提携の遂行等、多種多様なアドバイスを行ってきた。金融制度調査会の委員会を通じて金融ビッグバンの組み立てに参画。その後税制調査会金融課税小委員会委員として有取税、金融所得課税改正の議論に参画。最近は、金融機関やシステムインテグレータに対して自由化後の事業モデルの開発、ネットメディアと金融との融合による新規事業の設計などのテーマを中心に活動している。また、各種企業の合従連衡戦略の立案、推進の活動も多い。マッキンゼー内では全社における金融グループのリーダーの1人。

主な著作 論文など：

「市場の時代」(共訳)(東洋経済新報社 1999年)

「マッキンゼー合従連衡戦略」(共著)(東洋経済新報社 1998年)

「成長創出革命」(ダイヤモンド社 1994年)

「コーポレートアーキテクチャー」(共著)(ダイヤモンド社 1992年)

「企業変身願望 - Corporate Metamorphosis Design」(NTT出版 1990年)

その他、組織、金融、デザイン、住宅産業および企業風土変革に関する小論文記事多数。

その他の活動：

- 大蔵省金融制度調査会金融機能活性化委員会委員 (1995/9-1997/6)
- 税制調査会金融課税小委員会専門委員 (1997/6-2000/7)
- 経済同友会幹事 (2001/4-)
- 東北大学 工学部建築学科 非常勤講師 (テーマ：建築経済)(1999-)
- 一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 非常勤講師
(テーマ：財務評価と企業変革)(2001-)